



ボランティア精神を基本に活動



東京川西会々長
森田 光雄
(大塚)

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様には、健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は正月早々大規模な地震が発生し、大きな被害をもたらしました。さらに追い打ちをかけるように9月には大雨の被害が重なり能登地方は大変な一年でした。わがふるさと山形県も7月末に庄内地方を中心に大雨の被害が発生しました。地球温暖化は激しさを増しており、異常気象ととらえられています。今後は当たり前の気象と扱われるかもしれません。

東京川西会の行事は、黒べこツアーが中止となりましたが、その他は例年通り行うことができました。最大の行事の一つである芋煮会は、会員から餅が食べたいとの要望があり、今回角餅を加え、お雑煮風に召し上がっていた

いただきましたが大変好評でした。また、昨年末の研修会・忘年会には初めて参加された方も数名おられ、この機会に入会していただきます。また2月には埼玉県行事が復活し、そば打ち体験を実施することになりました。理事渡部隆夫さんのお力を借りての初めての取組みですので興味のある方は是非申込をお願いします。

今年から会報についてカラー化を図りました。いかがでしょうか。他の友好団体の会報がカラー化されており、当会も予算の関係でなかなか踏み切れませんでした。値段も白黒とほとんど変わらずに実現しました。鈴木事務局長のご努力によるもので、会報の充実が期待されます。

今後の活動ですが、「できる人が」「できることを」「できる範囲で」というボランティア精神を基本に進めてまいりたいと考えていますので、会員の皆様方の行事への積極的な参加をお願いします。

結びに、今年一年が皆様にとりまして健康で充実した素晴らしい年になりますようお祈り申し上げます。

新年のご挨拶



川西町長
茂木 晶
(小松)

新年あけましておめでとうございます。

2025年が会員の皆さま一人ひとりととって、希望と喜びに満ちた一年であり、健康で充実した一年をお過ごしいただけますよう、心よりお祈り申し上げます。

昨年4月29日に町長に就任してから8か月が経過し、皆さまの温かいご支援のもと、町の未来を見据えた各般にわたる施策に取り組みでまいりました。多くの皆さまのご理解とご協力により、町の様々な事業を展開することができましたことに心より感謝申し上げます。

昨年中は、初めて尽くしでありました。5月の定期総会、10月には、あきる野市で行われた「いも煮会」にも参加させていただき、会員の皆さまと有意義な交流ができましたことは、この上ない喜びです。温かく迎え入れてくださいました会員の皆さま方に深くお礼申し上げます。

さて、2025年は川西町誕生70周年の年となります。昭和30年に川西町が誕生して以来、先人の幾多の

偉業とご労苦の上に、本町が築かれてきました。

そのご功績に感謝するとともに、川西町への愛着を深め、未来へ飛躍するために記念事業や各種イベントを実施する予定です。会員の皆さま方にも是非ご参加いただきたいと存じます。

また、今年の本町の最上位計画であります「第5次総合計画」の最終年度であり、「第6次総合計画」へ繋げる節目の年でもあります。

これまでの総合計画で取り組んできた事業について評価、検証をするとともに、積み残しとなっている課題解決に向けた方策の検討を行い、本町のさらなる発展と住民福祉の向上に努めてまいります。

国内では、石破内閣が誕生し、「地方創生倍増計画」や「103万円の壁」の引き上げ等、日本中が転換を迎えようとしています。その中で、時代の波に取り残されることのない、消滅することのない町づくりを目指し、職員の皆さんと協力しながら、事業を展開してまいりたいと考えております。

そのためには、町民の皆さんの幅広い意見を収集し、政策に反映していく必要がありますので、会員の皆さまからも忌憚のないご意見を頂戴できれば幸いです。

結びに、貴会のみますますのご発展並びに会員の皆様方のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。本年もどうぞよろしくお願いたします。

新年のご挨拶



川西町議会議長
井上 晃一
(小松)

明けましておめでとうございます。会員の皆様には、希望に満ちた新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、日頃よりふるさと川西町への温かいご支援とご理解を賜り、深く感謝申し上げます。

昨年コロナ禍や経済情勢の変化など、私たちを取り巻く環境は厳しいものでしたが、米価の上昇やふるさと納税のほぼ倍増もあり、町民一丸となって、知恵と力を結集し難局を乗り越えることができました。

これもひとえに、ふるさとを想い、支えてくださる皆様のご厚情の賜物であると実感しております。

今年川西町が町制施行70周年を迎え、新たな時代の幕開けにふさわしい前進の年とすべく、議会一同、町の発展と住民福祉の向上に向けて、

引き続き全力を尽くしてまいります。また、皆様との絆を一層深め、川西町の魅力を未来へと繋げ、世界へと発信する取り組みを進めてまいります。東京川西会の皆様には、改めて変わらぬご支援お力添えをお願い致します。皆様のご健康とご多幸をお祈りし、東京川西会の益々のご繁栄を心より祈念申し上げます。

川西初のオリンピック選手



川西町教育委員会
教育長
小林 英喜
(小松)

あけましておめでとうございます。皆様には、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年の話題は、何といっても川西町出身で初めてのオリンピック選手、男子バレーボール高橋健太郎選手のパリ五輪出場でした。町では、三回のパブリックビューイングを開催し、延べ五百名を超える町民の方々と一緒に声援を送りました。目標であったメダル獲得には届きませんでした。が、ファイトあふれるプレーで我々に感動を与えてくれました。

大会後に来庁され、懸垂幕や応援に感謝しながら「自分の後に続き、

川西町から世界で活躍する子どもたちが出てくることを期待している」というメッセージを戴きました。ホッケータウン川西として、さらさらジャパンの一員となった齊藤はなみ選手をはじめ、世代別日本代表に名を連ねる選手も育っています。皆様方のご声援もよろしく願いたします。

結びに、貴会の益々のご発展と、会員皆様方のご健勝をご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

新年のご挨拶



川西町観光協会会長
本間 芳弘
(小松)

新年あけましておめでとうございます。

東京川西会の皆様には健やかな新春をお迎えのことと思います。

昨年は『コロナ』の猛威も落ち着き、いろいろな行事も例年通り行われて楽しい一年だったと思えます。

今年の川西は例年同様に積雪もあり、寒い冬のようなです。関東地方では冷たい風が強く吹き体調には気を付けてください。

昨年の『ダリヤ園』は順調に成長したものの、夏場の高温の影響で花



四季折々のおもてなし
川西町浴浴センター **まどか**

川西ダリヤパークゴルフ場

4コース 36ホール

〒999-0121 山形県東置賜郡川西町大字上小松5095番地36
TEL (0238) 42-2128 FAX (0238) 42-4100
<http://www.k-madoka.co.jp/>

が咲くのが遅くなりましたが、10月頃からは天気も落ち着き例年になく綺麗な『ダリア』が咲き誇りました。是非東京川西会の皆様にも今年も来園いただきたく思います。

春になれば自然豊かな川西は『山菜』のシーズンとなります。御家族・御友人と遊びに来てください。お待ちしております。

令和7年 年頭のごあいさつ



川西町商工会会長
寒河江 輝文
(吉島)

新年明けましておめでとうございます。

東京川西会々員の皆様におかれましては、健やかに新春を迎えられたこととお喜び申し上げます。

さて、なかなか収束が見えない新型コロナウイルス感染症により過去に経験したことのない経済面でのリスクが相当あった4年間でありました。一昨年の5月8日以降感染症分類が2類から5類へと変更となり、一気に経済活動が動き出しましたが、円安による物価高騰や燃料高等の要因で、国内景気は「一部に足踏みが残るものの、緩やかに回復している」状態が続いております。

そんな中「東京川西会総会や夏まつり」等も開催でき交流の機会を得て大変感謝しております。ご案内のとおり、当町では人口減少や高齢化の広がりによる、消費活動の低迷、令和4年8月3日から4日にかけて降り続いた記録的な豪雨による豪雨災害やコロナ禍、物価高騰も追い打ちとなり町内経済は大変厳しい一年でありましたが、「ふるさと川西」を穏やかに活気溢れるまちにと、令和の時代に相応しい活動を行うべく商工会役職員並びに会員一同力を合わせて頑張る所存でございます。

東京川西会々員の皆様のご健勝と、益々のご発展を心よりご祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

「都会と地方をつなぐ」



やまがた里の暮らし
推進機構理事長
登坂 賢治
(東沢)

新春のお慶びを申し上げます。会員の皆様のご健康とご多幸をお祈りいたします。

「里の暮らし」は関係人口の拡大を目指し、川西町の魅力を発信する事業などを展開しています。昨年の一十月には東京都町田市の薬師池公園四季彩の杜西園を会場に、二年目と

なる「山形かわにし」の暮らし展」を2日間にわたり開催致しました。「ダリア」、「やんちゃ留学」などの繋がりで長く交流のある町田で「名物の芋煮」、「米沢牛串」、「玉こんにゃく」などを堪能して頂き、新米「つや姫」「雪若丸」など美味しい川西をお届けし、いずれも大好評で早めに売り切れ状態でした。「川西会」の皆様にも多数ご来場頂きありがとうございました。

外へ向けて地方の魅力を発信することは、とても大切な取組みですが、迎える側として川西町の魅力を磨き、自然豊かな環境を守り、心の豊かな民間力を育てる取組みが必要です。豊かな水田に囲まれ、癒やしの空間である里山の優しい景観の中で、楽しい農村体験や伝統ある美味しい食を体感してほしいものです。

都市と地方、経済と癒やし、集中と過疎、両極の融合は相互にプラスとなる何かを生み出してくれるのではないのでしょうか。皆さんのふるさと「川西町」でお待ちしています。



かわにしにのいいものを集めた「かわいい」
かわにし 森のマルシェ 野菜・くだもの・手芸品
レストラン

かわにし森のマルシェ

山形県東置賜郡川西町中小松2534
TEL 0238-42-6664
営業時間 9:30~18:00
定休日 第4水曜

もち御膳もやっています

信頼を基に地域を開発する

川西町商工会

〒999-0121
山形県東置賜郡川西町大字上小松1736-2
電話 (0238)46-2020 Fax (0238)46-2022
E-mail:kawanisi@shokokai-yamagata.or.jp

新年のご挨拶



山形おきたま農業協同組合
川西支店経済支店長
須貝 嘉和
(大塚)

新年明けましておめでとうございます。東京川西会の皆様におかれましては、健やかなる新年をお迎えしたとお喜び申し上げます。

昨年、山形県内においては庄内・最上地方の豪雨被害などがありましたが、当川西町は大きな気象災害も無く、基幹作物である「米」の生育環境も良好に経過しました。しかし、秋の収穫期に天気が愚図つき、適期の刈り取りに苦慮した年でした。また、令和5年産の減収やインバウンド需要の回復等もあり、令和の米騒動と呼ばれるほど全国的に米が不足し、スーパー等の棚から米が消える事態となりました。東京や首都圏にお住いの「東京川西会」の皆様もお米の確保に大変苦慮されたこととお察し致します。

メディア等で「米価高騰」といった報道がなされておりますが、現在のお米の平均的な価格でご飯茶碗一杯40円前後です。産地では生産コストは為替相場の影響で依然高止まりのままであり、今までが安すぎた

といった実感でもあります。

本年も農業協同組合として「安全」で「安心」な川西町の農畜産物を「安定」的に皆様にお届けするため、日々努力を重ねて参りますので、「J A 山形おきたま」の農畜産物を末永くご愛顧賜りますようお願い申し上げます。して新年のご挨拶と致します。

川西町の最新情報

▼「山形かわにし暮らし展」大盛況!

令和6年11月23日及び24日の2日間、東京都町田市内の「町田薬師池公園 四季彩の杜 西園」を会場に、「山形かわにし暮らし展」を開催いたしました。パネル展示による川西町紹介コーナーや町田市とのコラボ芋煮、玉こんにやく、新米などの販売のほか、今年新たに来場者参加型の『玉こんにやくグランプリ』を開催し、今年も大盛況のうちに終了することができました。ご来場いただきました皆様に深く感謝申し上げます。



▼オーダーマイド型雪国体験ツアー「大人の冬休み」を実施します

お好きな日時・体験を選んで行程を組み立てるオーダーマイド型雪国体験ツアー「大人の冬休み」を、今年も令和7年1月25日から2月16日までの期間で実施いたします。スノーシュートレッキングなどの冬のアクティビティをはじめ、郷土料理づくりや酒蔵見学など冬の川西町を体験できる内容となっておりますので、ぜひお知り合いの方をお誘い合わせのうえ、ご参加ください。

お問合せ…やまがた里の暮らし推進機構 0238(54)3006

初めての芋煮会に参加



川崎市在住
野中 ヒロコ
(玉庭)

東京の河原で芋煮会をすることお聞きし、懐かしくて参加させて頂きました。

お天気にも恵まれ、皆様にもお会いでき、そして何ととっても美味しい芋煮を頂き、東京でやるのは初め

てです。本日に嬉しくて楽しい一日でした。有り難うございました。



川西ダリヤ園にて

東京川西会芋煮会



川崎市在住
伊藤 ゆき
(玉庭)

山形から都会に出てきて早四十年になるうとしています。早いもので、アツと言う間に時が過ぎました。川崎に来てから色々な行事に参加させて頂き、楽しんでまいりました。私は山形県の一歩の御馳走といったら芋煮会で頂く芋煮と違っていま

す。山形・米沢の河原で芋煮をした時のことを懐かしく思い出しますが、まさか東京の河原で芋煮会をするなどとは考えてもいなかったもので、本当に嬉しいことでした。

玉庭・中程の鈴木信一さんから「今年も秋川の河原で芋煮をやりましょ」とお聞きし、早速友達二人とお姉さんの四人連れで参加させていただきました。

芋煮の中に(うどん)や(もち)を入れて食べるのは珍しく初めてのことでしたが、とても美味しく頂きました。友達も、美味しい美味いとお天気に恵まれ、姉も私もすごく嬉しく楽しい一日を過ごさせて頂きました。帰りには友達から来年も是非呼んでほしいと頼まれましたので、必ず参加したいと思っています。どうぞ宜しくお願い致します。

第33回東京川西会

いも煮会に参加して



柏市在住・理事
齋藤 敬二
(中郡)

昨春理事に就いて、2回続けたの、通算では5回目の参加と記憶している。今回は、新設された役員シート

の鍋奉行を進んでやってみた。

先ずは、こんにやくを手で千切り里芋と一緒に火に架ける。里芋が柔らかくなるのを確かめながらしつかりと灰汁を取り除く。この作業が最初のポイントだ。

次に、スープの量を見ながら「うまいタレ」で味付けを。きのこ牛肉を加え入れ、日本酒、砂糖、水を加えて味を整えたら、ネギを投入して完成。

役員メンバーからも「旨い！旨い！」と。河川公園事務所の方々にも自信作をお届けすることが出来た次第である。



森田会長、鈴木事務局長のリーダーシップの下で、今回の事前準備は完璧だった。ご後援をいただいた川西町、役員の方々、町関係団体役員の方々に対し感謝の気持ちでいっぱいである。

回を重ねる毎に参加者が減ってきたことが課題である。知恵を出し合っ、少なくとも百名参加を維持したいところである。次回も楽しみである。

いも煮会を盛大に

開催できました



実行委員長・副会長
須貝 利喜夫
(大塚)

実行委員長を担当させていただきました川西町大塚地区出身の須貝です。33回目となる令和6年いも煮会が、秋川橋河川公園で盛大に開催できましたことを報告します。

今回から主催は東京川西会、後援に川西町として実施させていただきました。毎回、絶大なるご支援を頂戴していただきました川西町のお立場を明確にする狙いと、感謝の意味が合いが込められています。

当日の様子ですが、10月20日の日曜日は、曇りの予報から晴れに

変わり、穏やかな天気の下に、70名の皆様が集まりました。開会式では森田会長から「多くの皆さんが参加されたことに感謝します」との挨拶がありご来賓の代表として、茂木町長、井上議長から暖かい祝辞をいただきました。初参加の茂木町長から「東京川西会にも煮会に参加できることを大変楽しみにしていました」とのお言葉があり、会は一気に和やかな雰囲気になりました。



昨年からの改善点が実行委員会で何度も話し合われ、今回からいくつか変更したことがあります。受付をスムーズにするため、集中する時間帯は、担当を増やしたことで混雑が緩和されたように思います。

また、これまで実行委員の席は出身地区ごとのテーブルにありましたが、実行委員会テーブルを新たに設

けました。委員が落ち着いて食べることが難しいという意見を反映したものです。

芋煮材料の量も見直し、十分に御代わりが出来たと好評でした。どのテーブルからも笑い声が響き、初秋のひとつと、東京川西会の大事な交流の機会だと再認識しています。お楽しみ抽選会では、多くの参加者に景品をお届けしました。

ご来賓の方々、ご参加いただきました皆様様に御礼申し上げます。そして、準備から当日の運営まで誠心誠意取り組まれた実行委員の皆様、お疲れ様でした。次回も充実したイベントになるよう、さらに工夫を重ねたいと存じます。





研修会・忘年会のご報告

事務局報告

11月30日、年末恒例の「研修会・忘年会」が、新橋駅近くの中華・新橋亭で、29名の参加を頂いて開催されました。

第一部の研修会では、相模原市議会議員である渡部俊明理事から、「心



身の健康を保つための知識と実践法
 一度しかない人生を楽しく生きる
 』とのテーマで、ご講演頂きました。



自己紹介に続き、バランスの取れた食事の基本、定期的な運動の効果と実践方法、筋肉の役割、認知症予防、社会的なつながりを持つことの

意義、定期的な健康診断の重要性、AEDの使い方、フレイルなど幅広く、しかもいきいき百歳体操なども取り入れた実践を交えた内容の深いお話に、予定の一時時間が瞬く間に過ぎてしまいました。

第二部の忘年会は、笹木顧問の乾杯の音頭でスタートし、和気あいあいの時間を過ごすことができました。初めて参加された4名の方がいずれも東京川西会への入会を希望され、楽しく嬉しい忘年会となりました。神野顧問の中締めの後、記念写真に納まって、総会での再会を約束し合って解散となりました。



ご参加いただいた皆様、講師の渡部理事、大変にありがとうございました。

埼玉県行事・蕎麦打ち体験会

へのお誘い

前回の会報第96号で予告しておりました蕎麦打ち体験を、次の要領で開催いたします。主催者は埼玉県在住の渡部理事ですが、お住まいの地域に関係なく募集いたします。打ち立て蕎麦の食べ放題、お酒も用意してお待ちしております。

時：令和7年2月15日

10時30分加須駅北口集合

14時解散

所：分岐流 彩次郎蕎麦打ち道場 埼玉県加須市久下2-31-2

JR久喜で東武伊勢崎線乗り換え、3駅先の加須駅北口集合
会場は駅から1.8キロなので、タクシーに分乗して向かいます。

会費：三千元

人員：20人を募集します。申込多数の場合、先着順で締切とさせていただきます。

申込期限：2月2日（日）

申込先：事務局長の鈴木木までご連絡下さい。

鈴木茂連絡先

電話・ショートメール

090-4952-3397

ソバ打ちを楽しんでみませんか



加須市在住・理事
渡部 隆夫
(玉庭)

そばは世界各国で栽培されていますが、日本のように麺にして食べている国はありません。そばには多種類のミネラル、ビタミン、ポリフェノール等の健康成分が多く含まれています。また、麺つゆにも和食の基本と言われる「だし」が使われ、鰹節などの魚介類から摂れるうま味成分が豊富に含まれており、健康食品としても優れています。

山形県でもそば栽培が盛んで、全国4位の収穫量があり、川西町でも「出羽かおり」と言う品種が主として栽培されているとのこと。美味しい蕎麦は挽きたて、打ちたて、茹でたての「三たて」と言われています。この機会に蕎麦打ちを体験し、蕎麦の打ちたて、茹でたてを食してみませんか。

事務局だより 新会員の紹介

- 浜 さち代 様 豊島区在住(犬川)
- 中村 由美 様 品川区在住(犬川)
- 野中 ヒロコ 様 川崎市在住(玉庭)

- 野中 道子 様 川崎市在住(玉庭)
- 伊藤 ゆき 様 川崎市在住(玉庭)
- 武弓 裕相 様 品川区在住(犬川)
- 遠藤 洋輔 様 世田谷区在住(東沢)

編集後記

昭和百年となる新年、明けましておめでとうございます。

世界では各地で悲惨な戦争が続いています。登板にあわせて終結すべく、最後の激戦が続いています。そして私たちにも物価高騰として襲い掛かっています。国連を中心とした戦争を許さない仕組みづくりは、夢に過ぎなかったのでしょうか。

国内の政治の世界では、与党の少数化によって政党間の議論が見えるようになりました。これまで与党内での議論が報道されることは殆どありませんでしたが、痛みを伴う政策が増えざるを得ない現状に鑑みて、検討過程の見える化は、結果の良し悪し以上に大事なことでないかと感じています。

先般、能登半島最先端の珠洲市出身の友人と旧交を温める機会がありました。家屋という家屋が全半壊しており、友人の実家も半壊で瓦がなくなつたところを豪雨に襲われ、住める状況ではないとのことでした。

被災された方々、不幸に見舞われた方々にどこまで心を寄せ続けることができるのか、アルカディアの里・川西町出身者の正念場として、もう一度自らに問い直していきたいと思えます。

ふる里のおみやげに

塩小倉

〒999-0121山形県東置賜郡川西町上小松 1574
電話0238(42)3044・FAX0238(42)3144

東京川西会 会報 No.九十七号
発行「アルカディアの里」東京川西会
発行責任者 会長 森田 光雄
編集者 事務局長 鈴木 茂
〒362-0064
埼玉県上尾市小敷谷一〇五八・七一
TEL・FAX 048-725-3249
携帯TEL 090-4952-3397